

課題名

13. 林温州、岩崎、原口早生の収穫時期の予測方法

成果の概要

宮川早生と林温州の比較

- (1) 糖度は宮川早生が林温州に比較して開花130日以降高くなり、190日では約1度違った。酸含量は宮川早生が林温州より開花90日以降の減少が多かった。
- (2) 宮川早生は開花180~190日後には酸含量が1.0%、糖度は11度に達している点から、本県には早生系統の方が適している。
- (3) 開花から酸含量が1.2%に達する日数は林温州が宮川早生より約30日、平均気温の積算値は350℃多く要した。

宮川早生と岩崎、原口早生の比較

- (4) 開花から酸含量が1.0%に達するまでの日数は岩崎早生が原口早生より約15日、原口早生が宮川早生より約15日短かった。
- (5) 平均気温の積算値はそれぞれ約200℃違った。

成績の概要

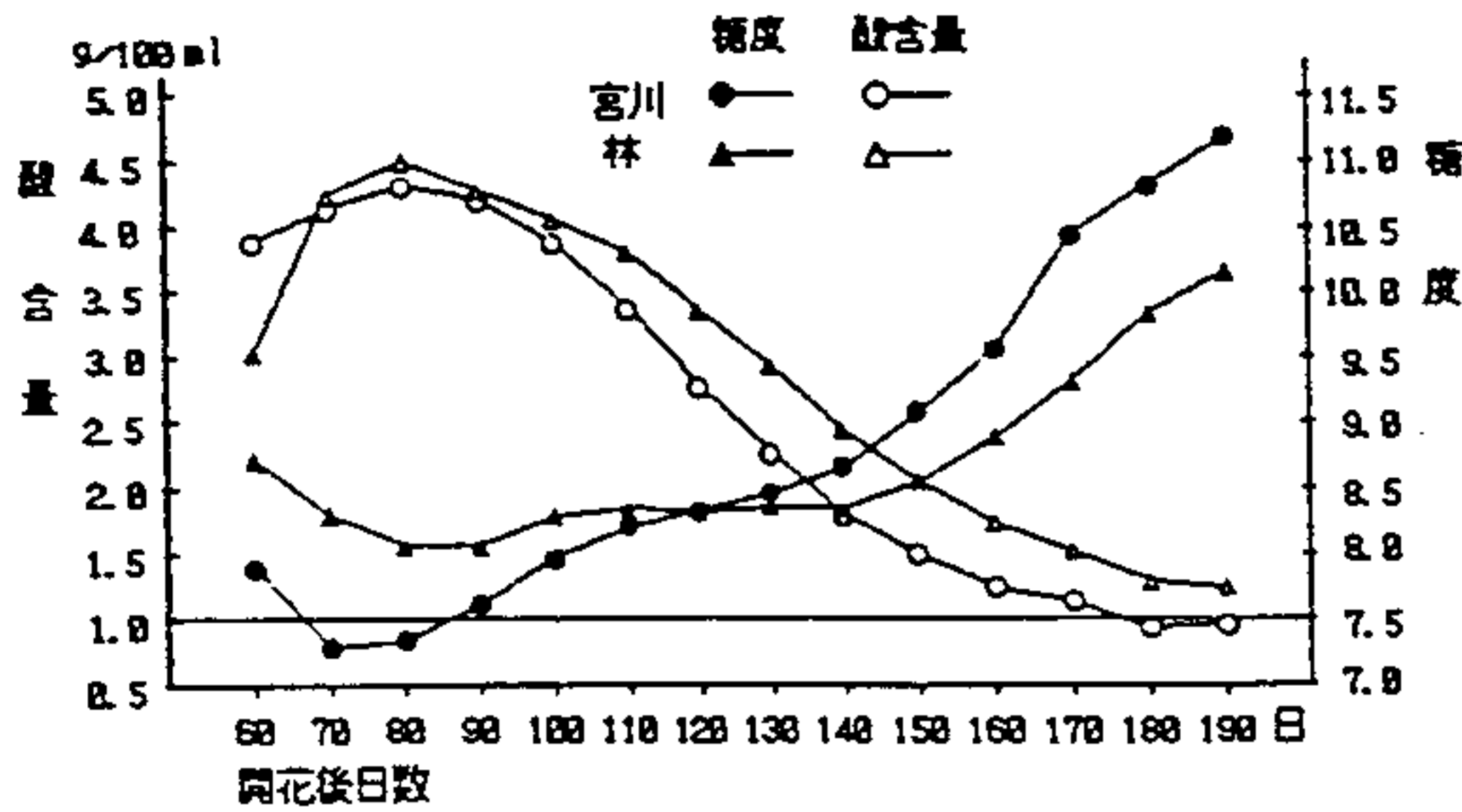


図1 宮川早生と林温州の開花後の品質の推移

成

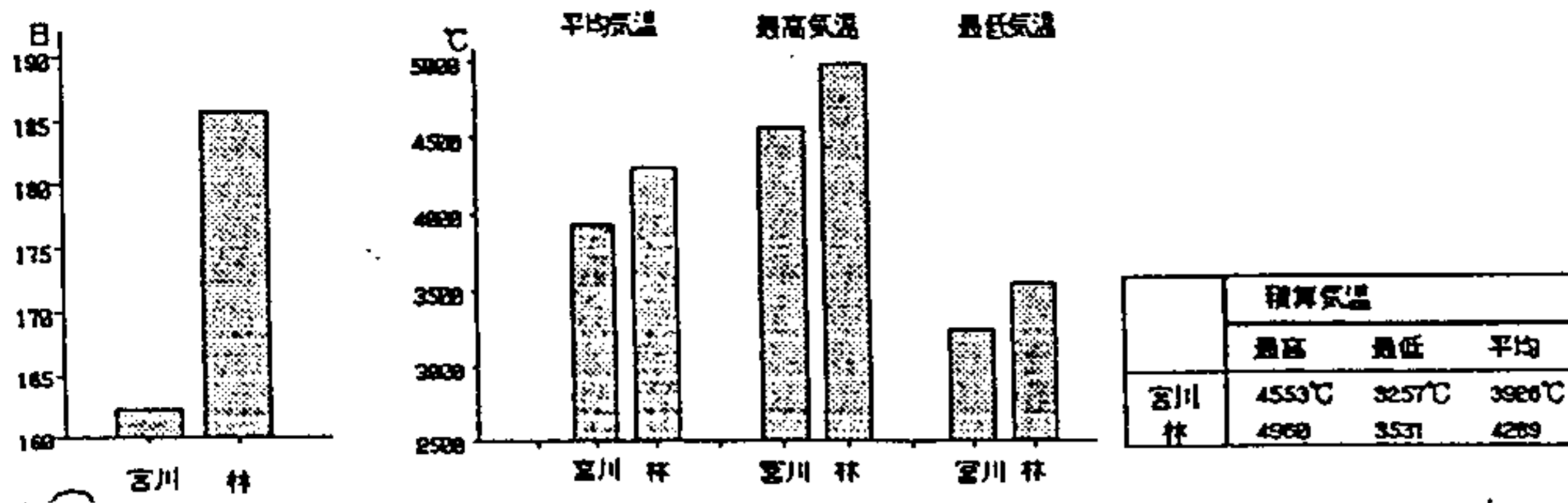


図2 宮川, 林温州の開花から酸含量が1.2%に達するまでの日数及び積算気温

績

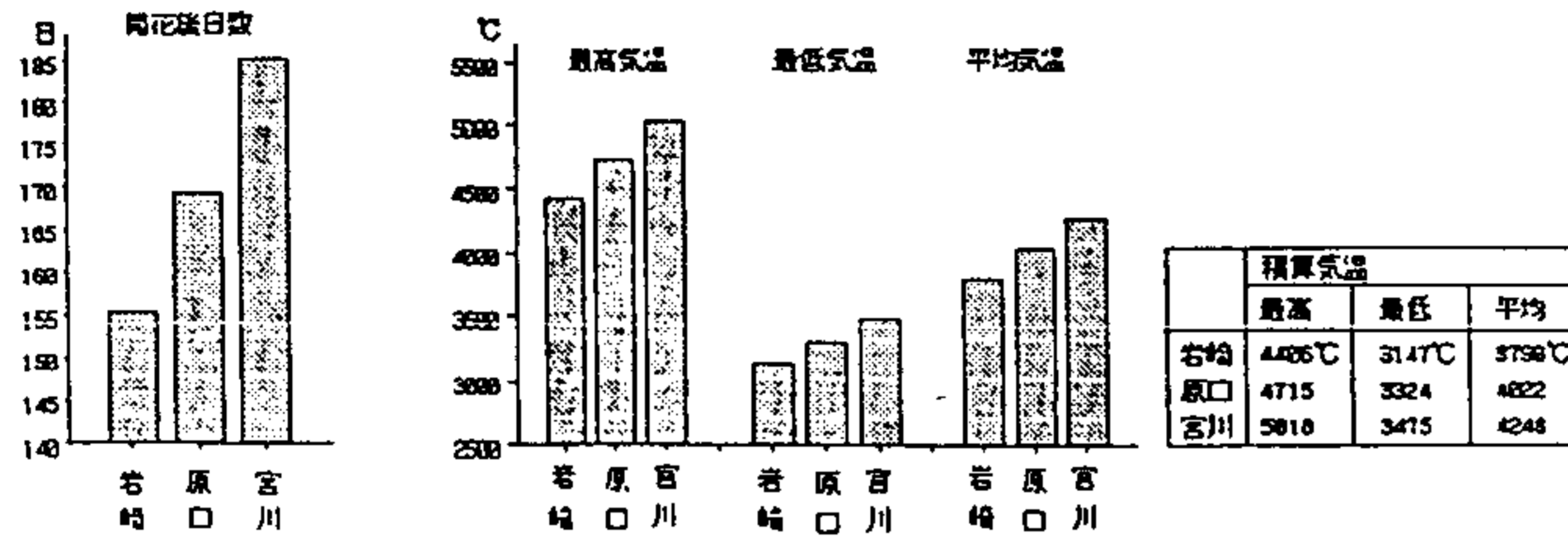


図3 岩崎, 原口, 宮川早生の開花から酸含量が1.0%に達するまでの日数及び積算気温

概

(果樹試験場)

要

普及上の留意点

特になし